

代 表 者

お
と
う

研 修 報 告 書

令和5年11月30日

会 派 代 表 者 様

呉市議会議員

奥田和夫

次のとおり研修（視察）に参加したので報告します。

1. 研修期日

令和5年11月10日（金）～令和5年11月12日（日）

2. 研修項目

馬毛島の基地建設の経緯と市民の声について（西之表市）
なくそう！日米軍事同盟・米軍基地 2023年日本平和大会 in 鹿児島（鹿児島市）

3. 参加議員

日本共産党呉市議会議員団 奥田和夫

■視察項目

馬毛島の基地建設の経緯と市民の声について

- ・研修団体及び講師氏名
西之表市役所企画課馬毛島係

- ・研修日
令和5年11月10日（金）15時～17時

【研修目的】

馬毛島の基地建設の経緯と市民の声
市の対応

【研修内容】

基地の担当の「企画課」，その中に「馬毛島係」があり資料の提供と説明を受けた。

【質疑応答】

●市の対応

- ・市長は基地反対を公約し当選，現在2期目。
- ・飛行場整備が始まり，市長の対応に変化。防衛省に「住民への影響の緩和について」要望をおこなった。防衛省は当初，土地の評価額として約45億円を提示したが，土地を所有するタストン社は400億円超を求めて交渉は難航。最終的に160億円で土地買収。
- ・動植物に環境アセスメントで問題点があった。
- ・市の予算は100億円。内，年20億円の基地再編交付金が10年間です。
- ・漁業者が作業員の運搬に従事し，漁をしなくなった。

●馬毛島における自衛隊施設整備の内容

- ・飛行場と飛行場関連施設。港湾施設。
主滑走路2,450m，横風用滑走路1,830m
F35Bの発着艦訓練を行うため（64億円）

●工事関係者

- ・10月末で種子島1,500名，馬毛島2,000名，計3,500名
令和6年2月頃がピークで，種子島2,000名，馬毛島4,000名，計6,000名
工期4年
- ・廃棄物や治安，地域のルール，交通ルールなどで心配が出ている。

●馬毛島に関連する自衛隊員

- ・令和6年に90名，佐世保地方総監に準備室10名
恒常的に150名～200名勤務。米軍はFCLP期間のみ。

【呉市での展開の可能性】

●教訓とすべきところ

- ・経済界から国に「自衛隊官舎設置の要望」などが出され、市が二分された。
- ・市長の姿勢に当初の基地反対が作業開始で容認に変わってきたように見受けられる。
- ・基地の使用が自衛隊と共に米軍も。これまで何もないところに基地がつくられ、基地被害の実態が住民に知られていない。
- ・防衛省と市の協議で終わっており、市民への説明になっていない。

■研修項目

なくそう！日米軍事同盟・米軍基地 2023 年日本平和大会 in 鹿児島

・研修団体及び講師氏名

講師 日本平和委員会 事務局長 千坂 純

・研修日

令和 5 年 11 月 11 日（土）～12 日（日）

【研修目的】

大会を取り巻く情勢と課題，たたかいの発展。運動の方向を学ぶ

【研修内容】

- ・防衛増税反対は 8 割に達し，増税先延ばし。少子化対策は待ったなしと言いながら大軍拡を優先させたために，先進国でも最低水準の教育や社会保障。
- ・国際情勢から「日本が攻められる危険」と考え，「防衛費の増額」や「反撃能力」は必要ではとの世論はいまだ多数。同時に「緊張緩和に向けた外交を優先すべき」「戦争しない国であり続けるためには，平和外交に力を」「憲法九条を守る」が多数を占める。だからこそ，憲法九条を活かした平和外交を。朝鮮半島も，中国との関係も。
- ・大軍拡，「戦争国家」づくりの具体化が全国各地で進行。日米軍事同盟が日本をアメリカの戦争に巻き込むものであることは，いよいよ明らかに。

【呉市での展開の可能性】

- ・自衛隊基地の強靱化の一環で，大麗女島のミサイルの大型弾薬庫の調査の実態と危険性を広く市民に知らせる。
- ・日米一体化で呉市の基地が増強され，戦争に巻き込まれる危険。
- ・大軍拡が呉市政にも影響。とりわけ子育て支援が進まない。暮らしや福祉・教育を直撃している。
- ・広く，市民との対話が求められる。